

## 写真で綴る三館連携事業に伴うイベントの様子

(R5.10.14 新潟市女池南の県立生涯学習推進センター)

新潟県公民館連合会事務局は、新潟県立生涯学習推進センターの一室を「新潟県生涯学習協会」「新潟県学校保健会」と共に賃貸で使用しています。県立生涯学習推進センターは、県立図書館、県立文書館と一つ屋根の下で、鳥屋野潟のほとり・新潟県立自然科学館の隣にあります。

いわば、県公連事務局の大家さんに当たる生涯学習推進センター、図書館、文書館の三館が連携して、10月14日(土)にイベントを開催しました。このイベントに「新潟県社会教育団体懇話会(略称：社団懇)」が協力することになりました。社団懇加盟の10団体は、新潟県や協議会などを略して記載すると、社会教育委員、高等学校PTA、ボーイスカウト、ガールスカウト、健民少年団、婦人連盟、小中学校PTA、子ども会育成、生涯学習協会、公民館です。今年度と次年度は公民館連合会が幹事団体に当たり、県公連の久保田会長が社団懇会長を務めます。

その社団懇が協力して取り組んだ三館連携事業(新潟県教育の日連携事業)の様子を報告します。



マナビーがお出迎え

ワークショップ：廃材を利用した作品作り

講師は廃材再生師の加治聖哉さん グルーガンを使って廃材の接着を伝授



親子で、仲良く、楽しく、作品作り。廃材を組み合わせる接着し形を作る。かんなの削りくずも動物のたてがみなどで大活躍。



ガールスカウト新潟県連盟（社団懇加盟団体）のブースではオリジナルペーパーヨーヨーづくり。絵やシールを貼った細長い紙をまるめてヨーヨーにする。  
また、廃油で作った石鹸を1個150円で販売。



生涯学習推進センター学習相談ボランティアのわりばし鉄砲、折り紙、紙とんぼの体験コーナー。わりばし鉄砲で射的のように的をねらうコーナーも。



午後はホールで講演会。講師は廃材再生師 加治聖哉氏「地方でアーティストを生業としていくこと」。安田宏生涯学習推進センター所長(三館の館長を兼務)があいさつと講師紹介。加治氏の講演では作品を画面で紹介しながら、作品や地域おこし協力隊で赴任した栃尾への思いなどを語られた。若さ溢れる講演で、たくさんの質問にも丁寧に答えておられた。手話通訳も行われていた。